

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	金城 泰邦(公明党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 首里城火災について</p> <p>(1) 首里城火災問題で火災を起こした責任はどこにあるか、まずはそれを明確にしなければ、今後の適切な再発防止策を講じることはできないと考えるが県の見解を伺う。</p> <p>(2) 今後の原因究明については、第三者委員会のような客観的な立場から調査できる方法を検討すべきと考えるが県の見解を伺う。</p> <p>(3) 再建に当たっては、資材の確保に課題があると言われている。資材の確保については、県外・国外からの資材の寄附を応募することも検討できないか県の見解を伺う。</p> <p>2 西海岸開発事業の進捗状況について</p> <p>(1) 第2ステージの事業着手は観光振興を図る上で重要である。県の見解を伺う。</p> <p>3 湾岸道路(西海岸道路)の整備状況について</p> <p>(1) 浦添北道路Ⅱ期線の事業化の状況について伺う。</p> <p>(2) なうら橋周辺の渋滞解消策について伺う。</p> <p>4 北部基幹病院の進捗状況について</p> <p>(1) 北部12市町村との調整の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 国との調整を今後どう取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(3) 医師不足の解消のため魅力ある病院が必要であり、その意味でも基幹病院が必要であると考えますが県の見解を伺う。</p> <p>5 福祉行政施策について</p> <p>(1) 医療的ケア児に対応できるデイサービスは県内にどの程度整備されているか伺う。</p> <p>(2) おむつ代の支給について、排せつに介助が必要な身体障害者へのおむつ代は支給の対象となっているが、同様に介助が必要な重度知的障害児は支給の対象になっていない。介助が必要な重度知的障害児にもおむつ代の支給ができないか伺う。</p> <p>6 公共交通施策について</p> <p>(1) 高校生通学実態調査の結果から次年度の事業展開に向けて県の方針がどうなっているか伺う。</p> <p>(2) 路線廃止、便数の縮小などで通学に支障を来している高校生への県の支援策はどうなっているか伺う。</p> <p>(3) タクシーを活用したデマンド交通を各市町村と連携して展開することで、路線バスが走っていない地域の交通網を補完し、交通弱者を支援する施策を展開することについて県の見解を伺う。</p> <p>7 防災士の免許取得のための試験及び講習会を沖縄県内で実施して、防災士をふやし、防災・減災対策を強化する取り組みが必要と考えるが県の見解を伺う。</p> <p>8 知事の公約である犬・猫殺処分ゼロを目指す取り組みについて、神奈川県のようなTNRのチケットの補助を県として取り組む必要があると考えるが県の見解を伺う。</p> <p>9 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	大城 憲幸(維新の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 海上運輸の環境規制について 年明け1月より船舶燃料の環境規制が大幅に強化されることに伴い、県経済及び県民生活への影響を懸念する声がある。</p> <p>(1) 関係機関はどう対応しどの程度のコストアップが見込まれるのか伺う。</p> <p>(2) 物流経費増に伴う県経済への影響を伺う。</p> <p>(3) 離島航路運賃への影響を伺う。</p> <p>(4) 県の対応策と今後の方針を伺う。</p> <p>2 県内就学援助の状況と今後の取り組みについて</p> <p>(1) 就学援助率県内市町村の状況と全体の推移を伺う。</p> <p>(2) 財源を含めこれまでの取り組みと今後の方針を伺う。</p> <p>3 農林水産振興について</p> <p>(1) 中央卸売市場(青果市場)の状況と市場法の改正について</p> <p>ア 市場の状況と活性化の取り組み状況を伺う。</p> <p>イ 改正卸売市場法に対応する条例改正の取り組みとスケジュールを伺う。</p> <p>ウ 条例改正の主な論点と方向性を伺う。</p> <p>(2) 低卵価の続く養鶏産業の状況と取り組みについて</p> <p>ア 卵価の状況と今後の見通しを伺う。</p> <p>イ 県内採卵鶏生産の状況を伺う。</p> <p>ウ 県内生産基盤維持に向けた取り組みを伺う。</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	當間 盛夫(維新の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 首里城再建について</p> <p>(1) 今回の首里城火災で県としての責任を知事としてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 指定管理者の沖縄美ら島財団の責任と首里城基金の県の認識を伺う。</p> <p>(3) 沖縄関連文化財に関する対応と今後の流出文化財の対応策を伺う。</p> <p>(4) 寄附金等での個人・企業版ふるさと納税の対応策を伺う。</p> <p>(5) 今回の消防活動での県の対応と今後の消防体制について伺う。</p> <p>(6) 周辺商店街、テナント事業者への融資以外での支援策について伺う。</p> <p>2 警察行政について</p> <p>(1) 観光客増加での遺失・拾得物取り扱いの現状と課題について伺う。</p> <p>(2) 特例施設占有制度の活用状況と課題を伺う。</p> <p>(3) 那覇空港警備派出所の賃貸借状況と他県との比較を伺う。</p> <p>(4) 宜野湾警察署で発生した事案について認識を伺う。</p> <p>(5) 県警一般職員定数の現状と課題を伺う。</p> <p>3 離島振興について</p> <p>(1) 離島で処理できない廃棄物の処理・回収ルートの構築について対応策を伺う。</p> <p>(2) 海岸漂着ごみの現状と県での処理対策を伺う。</p> <p>(3) 那覇周辺離島での土木・建築・農林水産の公共事業の発注状況と落札率を伺う。</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	山内 末子(無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) ひやみかせ首里城再建に向けて</p> <p>ア 知事は2日の首里城再建関係会議に出席したが、沖縄県の関係会議参加の背景とその会議の内容について伺う。</p> <p>イ 県の首里城復興戦略チームの役割、国に設置されたワーキンググループとの位置づけ・連携について伺う。</p> <p>(2) 戦後75年・平和事業について</p> <p>ア 6・23慰霊の日に向けて国連事務総長・事務次長を招聘することへの知事の見解を伺う。</p> <p>イ 同じく、慰霊の日に長年南洋諸島にて沖縄県慰霊の碑を守り、慰霊祭開催に御尽力いただいたサイパン・テニアン・フィリピン他関係者の招聘について見解を伺う。</p> <p>ウ 南洋諸島、他地域において長年独自で慰霊祭を開催または平和構築のために御尽力をしてきた方々をたたえるべきだと考えるが見解を伺う。</p> <p>エ 沖縄県を平和の緩衝地帯と位置づける作業は進んでいるのか伺う。</p> <p>(3) 沖縄県LGBT宣言に向けて具体的事業の展開を伺う。</p> <p>(4) 万国津梁会議3部門の進捗状況を伺う。</p> <p>2 経済振興について</p> <p>(1) 富川副知事の欧州経済視察の成果と県経済にどのように連携していくのかその展望を伺う。</p> <p>(2) 韓国からの観光客減少や首里城火災による観光への影響、関連企業の衰退等本県経済の今後の見通しをどのように捉えているか。</p> <p>(3) 本県市場のキャッシュレス化の状況と課題を伺う。</p> <p>3 教育・福祉政策について</p> <p>(1) 児童生徒のSNS利用の実態と被害状況、対策の取り組み状況を伺う。</p> <p>(2) 特定不妊治療費助成事業の利用実態・成果・課題について伺う。</p> <p>(3) 公営住宅管理標準条例改正(入居に際し保証人不要とする)に関する県の姿勢を伺う。</p> <p>4 OISTにおけるパワハラ・雇用問題について</p> <p>(1) 学内クリニック診療実態の県の調査の結果について。</p> <p>(2) 雇いどめや解雇問題でのパワハラ問題等、職場環境の不満が噴出しているようだが、県の監視指導体制はどのように行っているか伺う。</p> <p>5 食と農の安全・安心を求めるために、県内では生物多様性種子条例の制定を求める動きが活発になっている。県の見解を伺う。</p> <p>6 環境政策について</p> <p>(1) 沖縄市ごみ山問題の解決に向けて、うるま市に新たな管理型最終処分場の計画があるようだが、その背景・実現性について伺う。</p>			

- (2) うるま市勝連半島南側道路整備事業で環境アセスの知事意見が出た。概要を伺う。
- 7 うるま市はこのほど闘牛のまち宣言を行い、闘牛によるまちおこしにさらに力を入れる。県指定無形文化財指定に向けての期待も高まるが見解を伺う。
- 8 辺野古新基地建設について
 - (1) 埋立予定海域の軟弱地盤対策についての技術検討会にて液状化しないと報告された。県の認識とは大きくずれがある。見解を伺う。
 - (2) 辺野古側埋め立ての進捗状況と埋立総土量に対する割合はどうか。
 - (3) 辺野古大浦湾一帯が世界のホープスポットに選ばれた。見解を伺う。
- 9 建築行政について
 - (1) 都市計画法で許可した開発行為で地元の同意が得られず訴訟となっている事業は現在幾つあるのか。
 - (2) 竹富島、白保集落等沖縄らしさを残したい地域住民の声、持続的な観光と暮らしの共存のためには沖縄独自のシステムの構築が急務だ。見解を伺う。

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	瑞慶覧 功(おきなわ)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 来年は沖縄戦終結75周年になります。しかし今日まで国による全国戦災史実調査報告書に沖縄県だけが調査されていないという現実があります。日本国民として国による戦災史実調査を強く求める必要がある。見解を伺う。
- (2) 米軍基地が原因とされる有機フッ素化合物汚染問題で、知事は基地への立入調査や米軍が独自に実施した調査資料の提供等を国に求めましたが、進展が見られません。訪米して直接訴えるべきではないか見解を伺う。

2 水道行政について

- (1) 北谷浄水場の有機フッ素化合物による汚染問題について
 - ア 県が実施した調査結果と今後の調査方針を伺う。
 - イ 健康調査を実施する必要があると思うが見解を伺う。
 - ウ 水源について高濃度で汚染された井戸や川からの取水を停止して別の水源からの取水の要望が強い。対応について伺う。
 - エ 現状においてより安心・安全な水を得るにはどうすればよいか見解を伺う。

3 土木・環境行政について

- (1) 県2級河川白比川問題について
 - ア 11月22日夜、大雨により白比川が氾濫した被害状況を伺う。
 - イ 氾濫原因と今後の対応策を伺う。
 - ウ 白比川改修事業の進捗状況と今後の事業計画を伺う。
- (2) 県道・国道の維持管理について
 - ア 年間の除草作業回数と予算額(過去5年間の実績、変遷)を伺う。
 - イ 年間の除草作業の時期、スケジュールを伺う。
 - ウ 世界水準の観光地にふさわしい沿道景観を形成するためには国や市町村との連携が重要である。協議会等を設置して強化すべきではないか見解を伺う。
- (3) 首里城の復旧・復興について
 - ア 現在までの受け入れごとの寄附金額と合計金額を伺う。
 - イ 寄附金の受け入れ先の一元化を図るべきではないか見解を伺う。
 - ウ 焼失した首里城に使われた木材の主な樹種と量、産出先を伺う。
 - エ タイワンヒノキが今後、台湾からの入手が困難とされる理由を伺う。
 - オ 復旧・復興・復元・再建等異なる言葉が使われているが、統一すべきと思う。その見解と県が復旧・復興を使う理由を伺う。

4 文化観光・スポーツ行政について

- (1) 観光行政について
 - ア 2018年度県内入城観光客1000万人超の修正について伺う。

- イ 日韓関係悪化による影響について伺う。
- ウ 香港の民主化運動、デモ等による影響について伺う。
- エ 韓国、香港との県の対応について伺う。
- (2) 文化・スポーツ行政について
 - ア 沖縄伝統空手のユネスコ無形文化遺産登録に向けての計画、進捗状況について伺う。
 - イ 伝統空手とスポーツ空手の違いについて伺う。
 - ウ 空手会館の活用状況、実績について伺う。
- 5 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	新垣 光栄(おきなわ)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 玉城知事の政治姿勢・公約について

(1) 首里城の復興再建について

- ア 今後の復興再建計画について、知事の所見を伺う。
- イ 再建主体、予算措置、所有権移転等に係る課題を伺う。

(2) 次期沖縄振興策について

- ア 次期振興計画の進捗状況と課題について伺う。
- イ 新沖縄発展戦略の政策事項である東海岸サンライズベルト構想の進捗状況を伺う。
- ウ 県と中城湾地域振興協議会との総合的政策調整状況及び課題を伺う。

(3) 中高校生のバス通学無料化について

- ア 中高校生のバス通学無料化のアンケート・実態調査の結果、どのような方向性で進めていくのか。また、課題を伺う。
- イ バス通学無料化に伴う、交通渋滞対策・バス路線確保対策としての組織横断的な協議の状況と課題を伺う。

2 農業振興について

(1) 本県の地産地消について

- ア 本県の地産地消率とその内訳を伺う。
- イ 地産地消の取り組み状況と課題を伺う。
- ウ 地元農産物の学校給食への供給状況と栄養士のかかわりを伺う。
- エ 地元農産物の種子、種苗の供給状況と今後の取り組みについて伺う。

(2) 農業基盤整備について

- ア 農振農用地における農業用ハウスの整備状況を伺う。
- イ 農振地域における農業用水(かんがい用水等)の施設の整備状況を伺う。

3 土地利用計画と社会基盤整備について

(1) 那覇広域都市計画区域における区域区分検討委員会について協議の進捗状況と論点課題を伺う。

(2) モノレールの延伸要望とまちづくりに係る県の役割について伺う。

- ア 大型MICE施設予定地への延伸要望と西原町のまちづくりについて所見を伺う。
- イ 豊見城市への延伸要望とまちづくりについて所見を伺う。

(3) 市街地では、歩いても、住んでも楽しいまちづくりの実現に向けて、町をデザインし統一的・一体的なまちづくりの演出が重要であり、公共空間(道路・公園等)・民有地の活用と景観条例の整合性が必要である。県の取り組み状況と課題を伺う。

(4) 道路行政から、観光立県沖縄の県道・国道・各市町村道の緑化、維持管理の現状と課題について伺う。

4 福祉行政について

- (1) 障害者等の専用駐車場を難病患者・妊婦の方が気兼ねなく利用するためのパーキングパーミット制度の導入に係る取り組み状況と課題について伺う。
 - (2) 障害者施設への施設・設備支援事業及び補助金制度の現状と取り組み状況・課題について伺う。
- 5 県のチョウ(蝶)制定について
- (1) 沖縄県の県チョウ制定に検討委員会は、オオゴマダラの推薦を決定した。制定の進捗状況と制定後の方向性、取り組みについて伺う。
 - (2) 知事の裁決で制定するが、周知啓発活動の取り組みについて知事の所見を伺う。
- 6 基地問題について
- (1) 有機フッ素化合物汚染PFOS等の対策状況と課題について伺う。
 - (2) 外人住宅地から派生する野良犬・猫等の対策(保護・支援体制)と課題について伺う。
- 7 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	照屋 大河(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 安倍首相の在職日数が、戦前の桂太郎氏を抜いて憲政史上歴代1位となった。辺野古新基地建設強行、戦争法強行成立、在任中の憲法改正を公言してはばからないなど民意無視の政治を行っている。モリカケ問題や「桜を見る会」の問題で公私混同との批判を浴び、相次ぐ閣僚辞任で任命責任を問われるなど長期政権の「緩み」も甚だしい。知事は、安倍首相在職1位をどのように受けとめているか、認識を伺う。

(2) 「全国首長9条の会」について

憲法9条の改憲に反対する自治体の現職首長や首長経験者ら約130人が、去る11月17日、「全国首長9条の会」を結成した。共同代表の一人に稲嶺進前名護市長が選ばれたほか、沖縄からは伊波洋一参議院議員(元宜野湾市長)、大濱長照元石垣市長、山内徳信元読谷村長、新川秀清元沖縄市長の5人が名を連ねている。

ア 結成集会では「憲法と地方自治を踏みにじる行為に反対する。住民と力を合わせて運動を進める」とのアピールを採択し、当面の活動方針として9条改憲反対の署名運動強化や普天間飛行場の辺野古移設阻止などを決めているが、知事の受けとめを伺う。

(3) 緊迫する東アジアの国際情勢について

ア 香港区議会議員選挙で民主派が圧勝した。選挙前にはデモ参加者の1人が死亡したことなどをめぐり、デモ隊と警官隊が激しく衝突する場面もあった。香港における一連の動きは、辺野古新基地建設に反対する県民が各種選挙や県民投票で示してきた民意、キャンプ・シュワブのゲート前で辺野古新基地建設に反対し、非暴力の座り込み闘争を続ける人々への県警や機動隊などによる弾圧と重なって映るが、知事の所見を伺う。

イ 日韓の軍事情報包括保護協定(GSOMIA)の失効が直前になって回避された。韓国政府が当分の協定維持を決めたと発表した。暫定的であり先行きは不透明だが、仮に失効していたら日米韓の協力体制や東アジアの安全保障体制を揺るがし、在沖米軍基地が集中する沖縄への影響も危惧される事態だった。GSOMIAの失効回避と国交正常化以来、最悪と言われる日韓関係に対する知事の所見を伺う。

(4) 沖縄関係予算について

年末の予算取りまとめに向けた秋の国庫要請では初めて、知事と県市長会長、県町村会長の3者共同で取り組んだことを高く評価する。来年度の沖縄関係予算について、沖縄側は内閣府が求めた概算要求額3190億円の満額確保を要望し、一括交付金も要求額の1188億円以上を確保するよう求めているが、要請を終えての手応え、感触について知事に伺う。

(5) 首里城再建のあり方について

ア 首里城再建をめぐり、所有権移転に関する知事の発言が波紋を呼んでいる。知事は所有権のあり方についてどのように考えているのか、真意を説明してほしい。

2 基地問題について

(1) パラシュート降下訓練について

ア 嘉手納基地におけるパラシュート降下訓練は、防衛省が例外規定の撤廃を米軍に求める姿勢に転じない限り、今後も間違いなく繰り返される。伊江島での降下訓練も民間地への着地が散見され、危険極まりない。津堅沖でのパラシュート降下訓練も地元うるま市

や市議会の反対の声を無視して強行され続け、ことしだけで既に8回と常態化している。狭い沖縄でパラシュート降下訓練を行うこと自体が危険で、過重な基地負担の象徴の一つとなっている。抜本的な解決策を講じるためにも、県として県内におけるパラシュート降下訓練の全面禁止、県外移転を求めていくべきではないか。知事の見解を伺う。

(2) 辺野古新基地と環境保護について

- ア 辺野古新基地建設でジュゴンが確認されなくなったことを受け、沖縄防衛局が第22回環境等監視委員会で沖縄防衛局が航空調査の範囲を拡大する考えを示したが、県の評価を伺う。
- イ 第22回環境等監視委員会では、防衛局の事後調査に対する県からの環境保全措置要求への回答案が了承されているが、県に提出はあったか。回答内容とそれに対する県の評価を伺う。
- ウ 米環境NGOから辺野古大浦湾一帯が「ホープスポット」(希望の海)に認定された。辺野古新基地建設阻止に追い風となる動きと歓迎しているが、県の受けとめを伺う。

3 子育て支援について

(1) 待機児童について

- ア 県は本年度末としていた待機児童ゼロの目標達成を2年先送りし、2021年度とすることを決めた。延期を判断した背景と経緯について伺う。
- イ 保育の現場や保護者からは「2021年度末の達成も難しいのでは」という懸念や「安心して子育てできる環境を」と不安の声が寄せられている。昨年の知事選で「待機児童ゼロの実現」を公約とした知事は、延期を厳しく受けとめるべきである。目標達成について知事の決意を伺う。

(2) 幼保無償化について

10月にスタートした国の幼児教育・保育の無償化制度で、今年度分の財源が数百億円程度不足する見通しとなった。単価の高い保育所利用者が想定よりも多かったことが主因のようだが、沖縄における需給バランスは県の想定どおりか。財源確保のほかにも問題は生じているか等、本県における幼保無償化の実施状況について伺う。

4 教育行政について

(1) 教員と働き方について

- ア 県教育庁がまとめた県立学校教職員の2018年度の勤務実態調査で、残業時間が月100時間を超えた人数が延べ1314人、過労死ラインの月80時間を超えた人数も合わせると延べ3078人となった。教職員の激務常態化が可視化された格好で、実効性を伴った働き方改革が急を要する。県の受けとめと事態改善に向けた取り組みについて伺う。
- イ 県立高校や公立小中学校などの教員志願者数が8年連続で減少するなど、この10年で約30%減少した。人材流出を防ぐための県の対策について伺う。

- (2) 文科大臣の「身の丈」発言で社会問題となった大学入学共通テストへの英語民間試験の2020年度導入が見送られた。家庭の経済力や居住地が成績を左右しかねない仕組みで、制度の欠陥は以前から指摘されていた。そのまま実施された場合、多くの有人離島を抱える沖縄では、どのような影響があったと想定されるか。県の認識と導入見送りに対する受けとめを伺う。

5 福祉・医療行政について

(1) ハンセン病問題について

- ア ハンセン病元患者家族に最大180万円を支給する補償法と、名誉回復を図る改正ハンセン病問題基本法が成立した。熊本地裁が認めていなかった米国統治下の沖縄の被害も認められた一方、長年にわたり差別を受けた経験から名乗り出ない人もいると見られる。啓発活動などの対策が急がれるが、知事の受けとめと今後の県の取り組みについて伺う。
- イ 全国の13国立ハンセン病療養所を退所後、療養所に戻った元患者が、過去10年間で延べ129人に上ることがわかった。うち沖縄愛楽園に13人、宮古南静園に12人が再入所している。高齢化している元患者が、いまだ社会から置き去りにされる実情が浮き彫りになったが、県はいかなる支援策を講じているか、取り組みを伺う。

(2) 公立病院の統廃合問題について

9月に厚労省が全国424の公的病院に統廃合を含めた再編の検討を求め、大きな社会問題となっている。対象病院は地方を中心に全体の約3割に上るにもかかわらず、沖縄だけは対象病院がなかったのはなぜか、県の分析とあわせて伺う。

6 観光行政について

- (1) 国土交通省は建設中の那覇空港第2滑走路を、2020年3月26日に供用開始すると発表した。
 - ア さらなる観光振興につながると期待する声がある一方で、観光業界からは航空路線の大幅な増便や新規路線就航が見込めないなど、先行きを懸念する声もあるようだが、路線拡大に関する県の見解を伺う。
 - イ 沖縄国際物流ハブの活用強化や取扱貨物量の増加が期待されるが、県の取り組みについて伺う。
- (2) 観光客数1000万人の突破は修正報告の形で発表された。1000万人達成の評価と統計の信頼性に対する県の見解について伺う。

7 我が会派の代表質問との関連について